

人口動流

人口

Population-Flow Population

7

人口増加の状況をさらに詳しくみたのがこの図である。首都圏の規模でみると、東京区部の伸びが頭一つになっているのに対し、周辺の市町村がドーナツ状に人口増加にみまわっている(A図)。本市においても近郊の区で増加が著しい。下のグラフでも、東京区部は昭和35年頃から人口増加が鈍っているのに比べ、本市はグンと伸び続けていることがわかる。しかも東京が1ヘクタール当たり160人で飽和状態になっているのに対し本市はまだ約50人/haであり、当分のあいだ人口急増は衰えそうにはない。

B図は転入・転出の状況をみたものである。東京からの転入のウエイトが大きい。また東北・九州・中部などの地方から転入してくれる人口の中には、東京に職場をもながら東京に入りやすく横浜に住む人がかなりいるものと思われる。これも東京からあふれた人口といえる。

毎日の通勤・通学者はどう動いているかC図でみて、やはり東京への流出が多い。その結果、D図でみるとおり、近郊部は昼間人口よりも夜間人口のほうが多いベッドタウンになっている。大都市では一般に昼間人口の方が多いが横浜市だけは夜間人口のほうが多いという現象を呈しているのである。

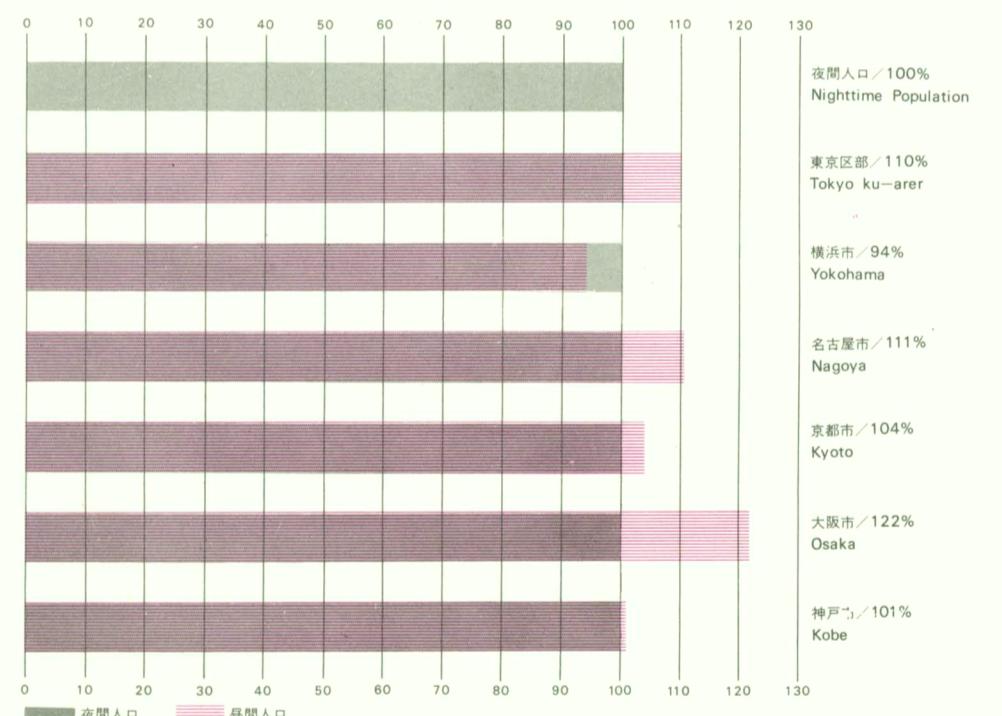
人口増加状況	Increase of Population.									
	昭和	人口	指數	増加数	増加率 (%)	社会 増加率	自然 増加率	密度 (人/ha)	世帯 あたり人員	一戸あたり人員
30	1,143,687	100	28,973	2.6	1.5	1.1	28.2	255,833	4.47	
31	1,174,465	103	30,778	2.7	1.6	1.1	28.7	266,246	4.41	
32	1,211,748	106	37,283	3.2	2.1	1.1	29.3	277,506	4.37	
33	1,253,764	110	42,016	3.5	2.3	1.2	30.7	291,183	4.31	
34	1,301,898	114	48,132	3.9	2.6	1.3	32.1	306,371	4.25	
35	1,375,710	120	73,814	5.7	4.4	1.3	33.9	343,533	4.00	
36	1,437,868	126	62,158	4.5	3.2	1.3	35.5	364,244	3.95	
37	1,514,444	132	76,576	5.3	3.9	1.4	37.3	393,719	3.95	
38	1,590,191	139	75,747	5.0	3.5	1.5	39.2	421,186	3.77	
39	1,676,394	147	86,203	5.4	3.8	1.6	41.3	452,966	3.70	
40	1,788,915	156	112,521	6.7	5.0	1.7	43.3	481,943	3.71	
41	1,859,772	163	70,857	4.0	2.4	1.4	45.0	509,225	3.65	
42	1,945,272	170	85,500	4.6	2.9	1.7	47.1	540,340	3.60	
43	2,047,487	179	102,215	5.3	3.5	1.8	49.2	575,841	3.56	
44	2,143,820	187	96,339	4.7	2.9	1.8	51.3	610,781	3.51	

各年10月1日現在

44年10月1日現在

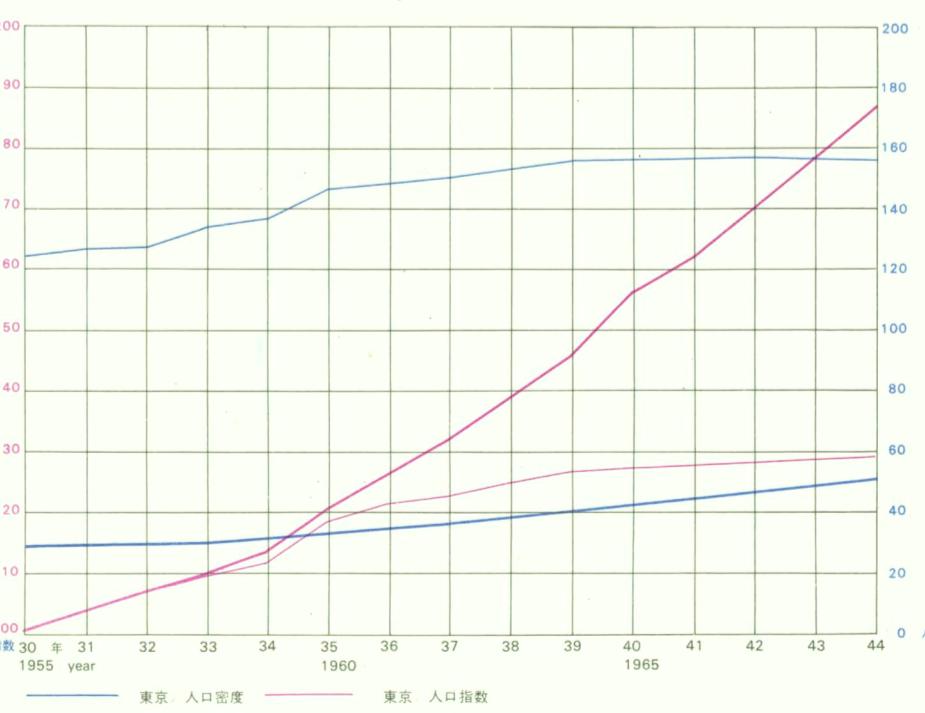
大都市の昼間人口の割合

The Proportion of the Daytime Population to the Nighttime Population - 1965



横浜と東京の人口増加比較

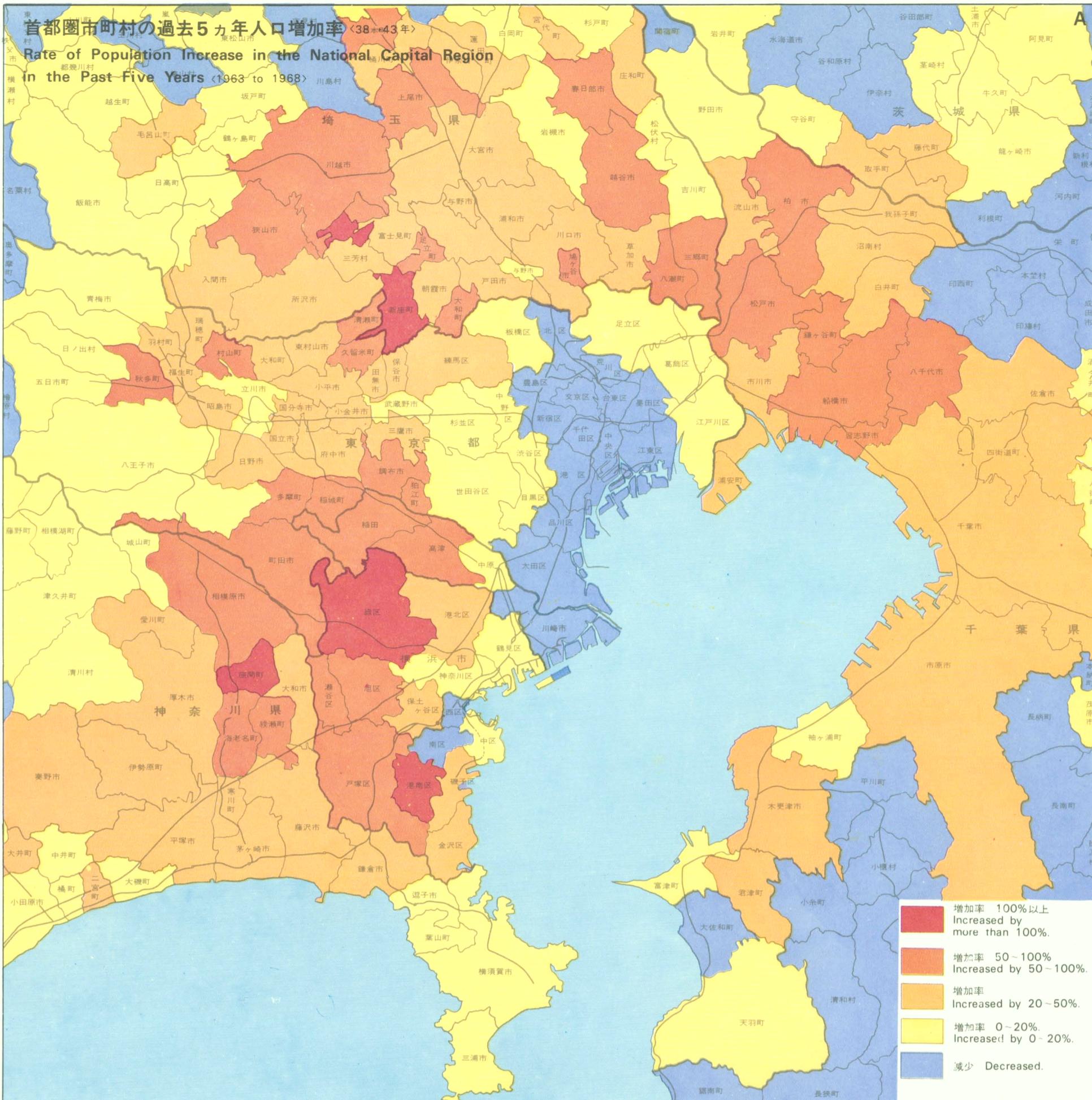
Comparison of Increase of Population in Yokohama and Tokyo



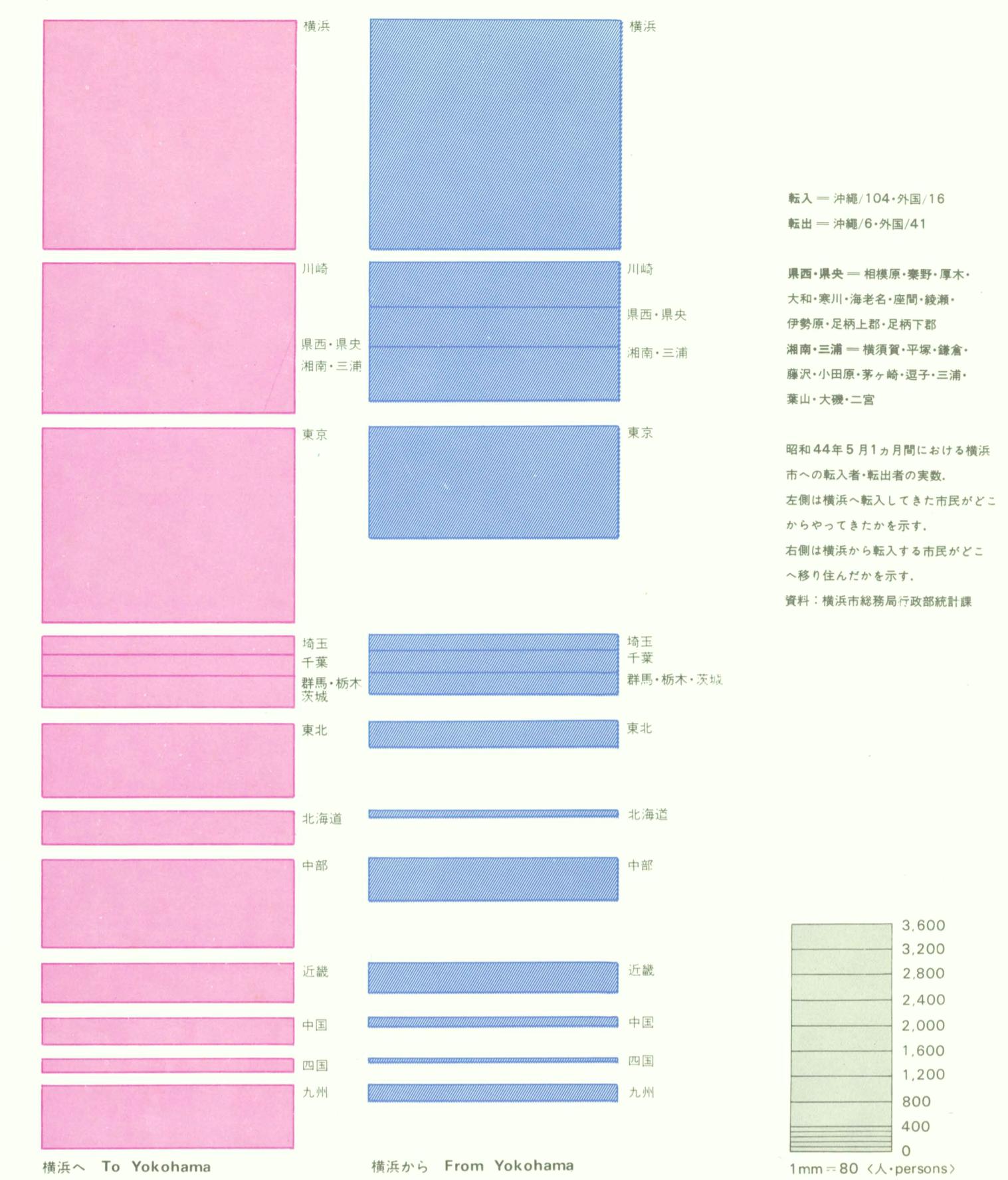
資料

A —— 各県統計の数字による。
B —— 横浜市統計人口実勢調査結果速報。
昭和44年5月1日～31日の期間に各区役所・支所に届け出たもの。

C —— 昭和40年国勢調査。
D —— 昭和40年国勢調査。
●と解説資料 —— 横浜市企画調整室企画調整課



転入転出 <昭和44年5月>
Moving-In and Out <May 1969>



人口動流
Population Flow

B

